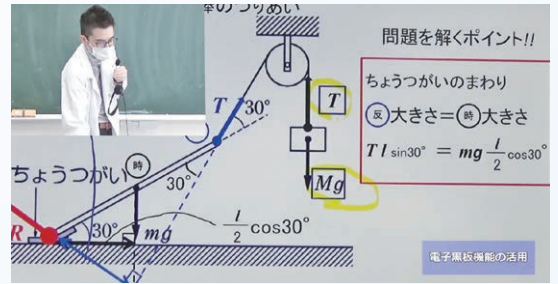


「ハイブリッド教育」が 「教育の最適化」を可能にする! ～ICTを駆使し、より深い探求を実現～



導入時期・内容

- ▶4/9(木) ●ICT研修担当教諭による『Web会議システム』研修会実施
- ▶4/13(月) ●「テレワーク」研修実施（通信状況の確認作業）
- ▶4/14(火)～ ●オンラインHR実施
- ▶4/16(木)～ ●Web会議開始
- ▶4/24(金)～ ●全クラス双方向オンライン授業開始 30分5時間授業
- ▶5月 ●土日を除き、祝日もオンライン授業実施
～5/5(火)までは学年HR
5/6(水)以降はクラスごとにHR
- ▶5/11(月)～ ●30分7時間授業実施
- ▶5/20(水)～ ●Cisco Webex運用開始に応じて、45分7時間授業実施
- ▶5/25(月)～ ●35分7時間授業実施

オンライン授業の特長

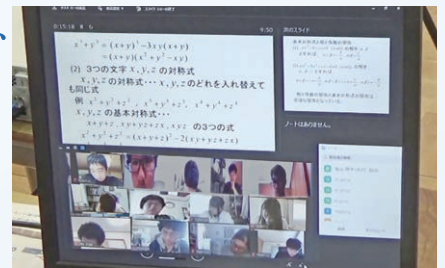
ZoomやCiscoWebexによる双方向(リアルタイム)でのHR及び授業
パワーポイント、デジタルノート、電子黒板を活用した教材

Point1 どこよりも早く!4月半ばオンライン化スタート!!

「学びを止めない」ことを第一に考え、県内でどこよりも迅速にオンライン化を導入。14日のオンラインHR実施を皮切りに24日から全クラスで双方向オンライン授業を開始。GWも積極的に学びを進めて休校措置による生徒の不安を解消。

Point2 1日84本の豊富なコンテンツ、420本の授業を配信

2017年からアカデミア・ラボでICTを活用し、遠隔教育「ネイティブの外国人講師によるイメージ授業」を行ってきた経験をベースに、オンライン授業をスムーズに展開。多様なコンテンツを教科、授業形態により使い分け、学習の幅を拡大。



画面共有で進捗を確認

Point3 ICT機器活用の授業で理解度アップ!

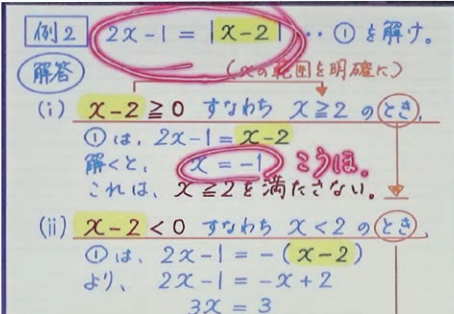
パワーポイント、デジタルノート、電子黒板などを活用して生徒の興味関心を高めるわかりやすい授業を展開。クリエイティブな学びを提供するとともに、チャットや音声のやり取りでコミュニケーションを図り、生徒の理解度をチェックしてフォローアップ。



オンラインで絆を深める

Point4 リアルタイムのアウトホームなコミュニケーション

生活のリズムを崩さぬよう、時間割を作成して通常と変わらない7時間授業を実施し、生徒のモチベーションを維持。リモートで「つながる」中で学力の定着を図ることはもちろん、オンラインHRで顔を合わせ、声掛けをして生徒の心身の健康を把握。



デジタルノートで重点チェック

効果

- ・ 学びを進めることで、登校できない生徒の抱える不安の解消につながった。
- ・ 各教科が工夫を凝らした教材を使用し、学習効果を高めた。
- ・ 双方向性でコミュニケーションが取れるため、生徒のモチベーションを維持できた。
- ・ ICT機器を使うことで、教科やキャリアを越えた協力体制(チームワーク)が醸成された。

生徒からの声

- ・ 先生の姿を見て授業を受けられることで、安心感が生まれ、集中できた。
- ・ 音声のやり取りができ、指名されたりするので、適度な緊張感を持って授業に臨むことができた。
- ・ 板書内容はもちろん、教材の工夫がなされており、わかりやすく、楽しみながら受講できた。
- ・ 与えられるだけではなく、自らが能動的に学ぶことの重要性を痛感し、予習復習に力を入れるようになった。



真剣に授業に臨む生徒

今後の展開と展望

「21世紀型教育」導入先進校として、対面授業とオンラインの組み合わせによるハイブリッド教育を実践し、どんな状況でも学びを継続できる教育環境を整える。ICTを効果的に活用した多様なコンテンツで魅力ある授業を展開することで、生徒一人ひとりの能力を最大限に引き出し、確かな学力と予測不可能な時代を生き抜く“人間力”を育成。

⇒ アクティブ・ラーニングの推進

主体的・協働的な学習により、問題解決能力、新たな価値観を創造する力を育成。

・ 教員作成の教材を動画配信
生徒が自由にアクセスして学習できる環境を構築。

・ 課題配信
個々の理解度に応じたきめ細やかな学習支援。

・ Skype活用の有識者のオンライン講義
最先端のアカデミックな知見を教材に知的成長を促進。



オンラインでイメージ教育